

### <白金標準、7月の高値 4828 円に向けた高値追い・・・>



(出所：オアシス)

共産党指導部は、中国経済成長率 5%を達成するため政治局会議で「財政・金融政策の景気下支えを強めなければいけない」として、超長期国債や地方債の発行による財政資金の投入や利下げなどを挙げ、また中国経済を復活させるため、政府は 2 兆元（約 41 兆 3000 億円）相当の特別国債を発行する緊急の景気刺激パッケージを打ち出しているとロイターが報じられると、銅価格が 10000 ドルを回復し、非鉄金属の価格も中国の景気対策で大幅に反発している。特に景気商品である白金標準先物は、米中の景気状況で一時は 4129 円、4175 円まで押し下げられているが、米国の経済指標が上昇するなどソフトランディングの可能性が高まり、中国は国慶節前に大規模な景気刺激策を発表するなど今ままで小出しの対策で効果がなかったが、香港株や上海総合に深センの株価が 8%を超える大幅高を演じるなど中国の景気刺激策が評価されている。そのため白金標準先物の戻り高値 4593 円を超えると週末には 4792 円まで上昇している。特に今週は中国の国慶節が明け、中国株が更なる高値を試す値動きを続ける様であれば、目先の高値 4828 円を試す可能性は高いと思われる。

#### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇し、**シグナル** も上昇している。RCI では**短期**が下げ渋り、**長期**は上昇している。そのためオシレーターは強気を示唆しているが、日足と移動平均線と乖離の拡大には注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引1,302,000円(2024年10月7日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約10倍から70倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復71,280円(2024年10月7日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話03-5540-8423(受付時間:平日8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>